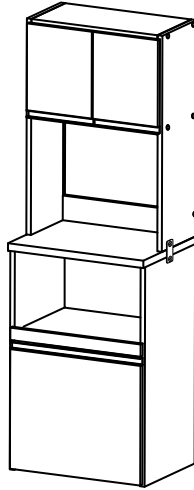
家電ラック取扱・組立説明書

この度は弊社商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本取扱説明書を大切に保管していただき、
読み返して末永くご愛用いただきますよう、お願い致します。

耐荷重 /人工大理石天板：約30kg
スライド棚：約10kg
扉内収納棚：約5kg
容　量 /ペール容量：約20ℓ（1個あたり）
コンセント2口（合計1500W）2ヶ所

品　質　表　示	
品　名	家電ラック
品　番	ホワイト：2分別 SD-516　3分別 SD-518 ブラウン：2分別 SD-517　3分別 SD-519
材　質	本　体 / プリント化粧繊維板 （クリーンイーゴス紙） 天板 / 人工大理石（ポリエステル系樹脂） スライド棚 / ポリエステル化粧繊維板 ペール / ポリプロピレン
サイズ（cm）	2分別　約 幅58.7×奥行44.5×高さ179.6 3分別　約 幅74.0×奥行44.5×高さ179.6
原産国	日　本

人工大理石天板の取り扱いについて

人工大理石は熱に強い素材ですが、空焚きしたやかんや、高温で調理した鍋などを直接置きますと、まれに破損や変色をおこす事があります。通常は鍋敷きを使用いただく事をお勧めします。また、先の鋭利な物を落下させたり、こすったりすると傷がつきますのでおやめください。
汚れは長時間放置せずに、すぐに拭き取ってください。

組立及び品質についてのお問い合わせは

受付時間　AM9：00～PM5：00
（土、日、祝日を除く）
TEL　（0256）35－7405
FAX　（0256）35－5844
ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ　0120（11）7405
川口工器株式会社サービス窓口
品質以外のお問い合わせは、
お買い上げの販売店へご連絡下さい。

〒955-0045
新潟県三条市一ノ門2丁目4番45号
川口工器株式会社
http://www.kawako.net/

⚠ 警告

- 塗料・接着剤等の臭いがこもっている場合がございますので梱包を開けて作業をする際は、換気に注意し通気性を良くして行ってください。
- 水平な場所でご使用ください。傾いた場所やガタツキのある場所で使用していると強度が落ちたり壊れたりしてケガをする恐れがあります。
- 片寄った荷重や耐荷重以上の重い物をのせないでください。破損する恐れがあります。
- 火気の近くでのご使用は危険ですのでおやめください。

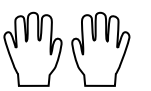
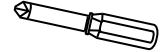
⚠ 注意

- **最下段の引き出し裏にはキャスターがあります。キャスターの構造上、移動する時キャスターのあとがつく事があります。特にフローリング床の場合は床のキズにご注意ください。**
- 本製品は収納を目的とした商品ですのでそれ以外の用途では使用はしないでください。
- 直射日光や熱、冷暖房機器の強風が直接当たらないようにしてください。側板が反ったり変色する原因となります。
- 移動する場合は必ず収納物を全て取り除いてから、2人以上で本体を持ち上げてください。
- 商品が倒れて怪我をしないよう、転倒防止バンドで強度のある壁や柱などに固定してください。
また、設置場所や向きなどにも注意してください。
- 本品に乗って遊んだり、踏み台代わりに使用しないでください。倒れて怪我をする恐れがあります。
お子様のいるご家庭では特に注意してください。
- スライド棚に貼ってあるシールははがさないでください。

お手入れ方法

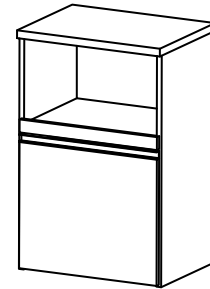
本体には「クリーンイーゴス紙」を用いています。汚れがつきにくく落ちやすい素材ですが、汚れた場合は、すぐに拭き取るようにしてください。
放置され、時間が経った汚れは落ちにくく、拭き取れない場合もありますのでご注意下さい。
クレンザー・シンナー・ベンジン等は絶対に使用しないでください。塗装が剥がれてしまう恐れがあります。汚れを落とす際は、あらかじめ目だたない位置で試してから行ってください。
たわしの使用は傷がついてしまいますので、おやめください。

天災等の不可抗力やお客様のお取扱い上の不注意、不当な修理、改造による故障破損等は補償いたしません。

○部品の確認 … 組立ての前には部品の名前と部品数が揃っているか確認してください。
また、組立中は部品を紛失しないよう注意してください。
○組立場所 … 平らなカーペットやじゅうたん・毛布等表面の軟らかい床の上で組み立ててください。
フローリングの場合は床を必ず保護して組み立てを行ってください。
○用意する物 … ネジに合ったドライバーをご用意ください。
○組立の注意 … 手袋をはめますと安全に作業ができます。二人以上で組立設置を行ってください。

部品内容

※必ず、組み立て前に部品名と部品数をご確認ください。

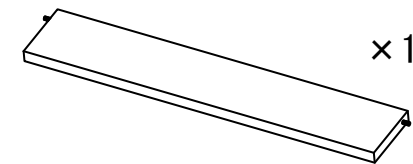
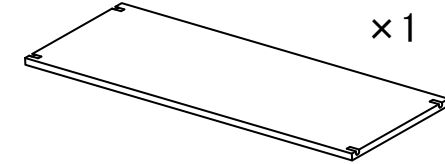
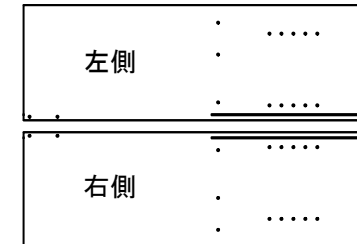
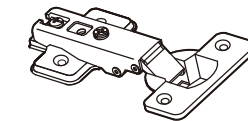
①下本体 ×1

②側板 × 左右各1

③天板 ×1

④コンセント付き棚 ×1

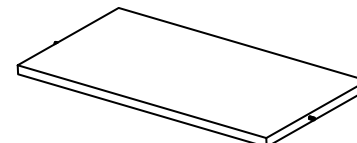
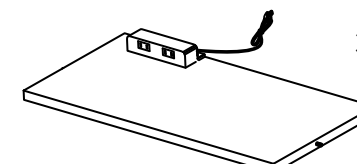
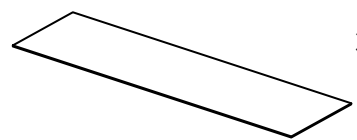
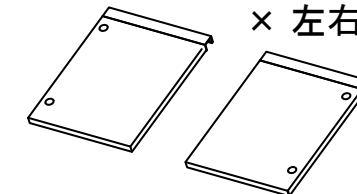
⑤背板 ×2

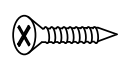
⑥扉 × 左右各1

⑦補強板 ×1

⑧棚板 ×1

⑨スライド丁番 ×4

⑩背板連結パーツ ×1

⑪ネジ（長） ×10

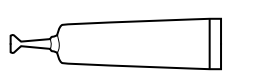
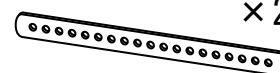
⑫ネジ（小） ×16

⑬金ダボ ×4

⑭連結プレート ×3

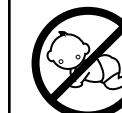
⑮連結用ネジ ×6

⑭と⑮は一緒の袋に入っています

⑯目隠しシール 10個分

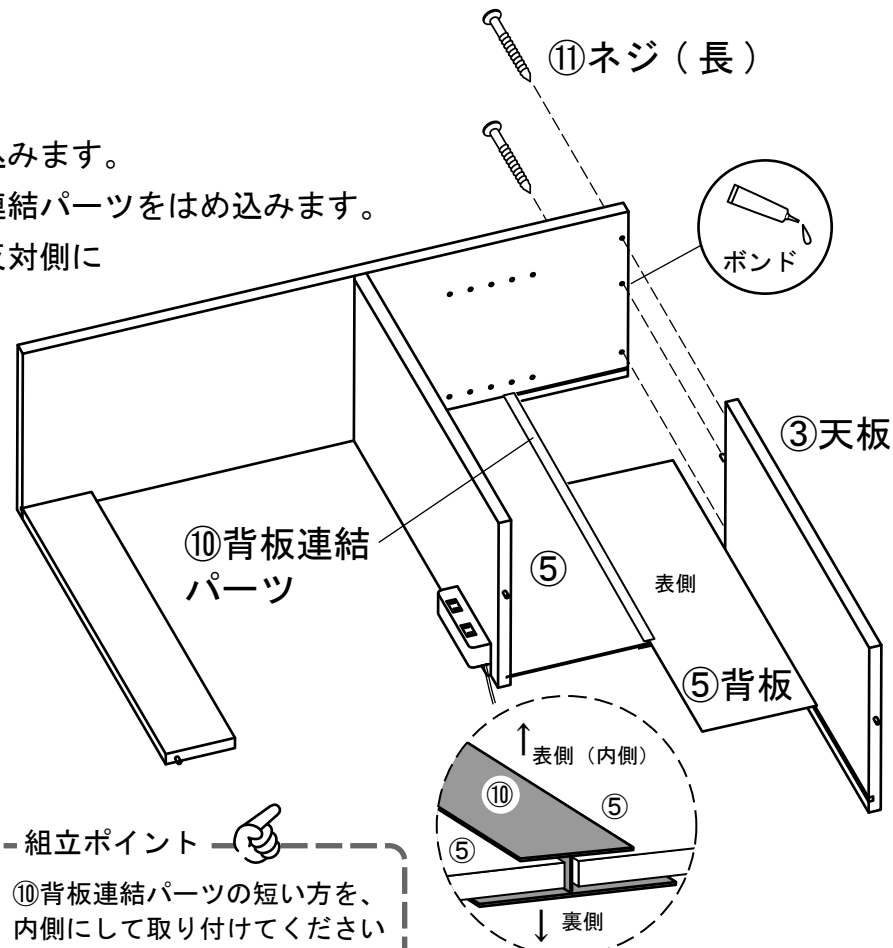
シートになっています

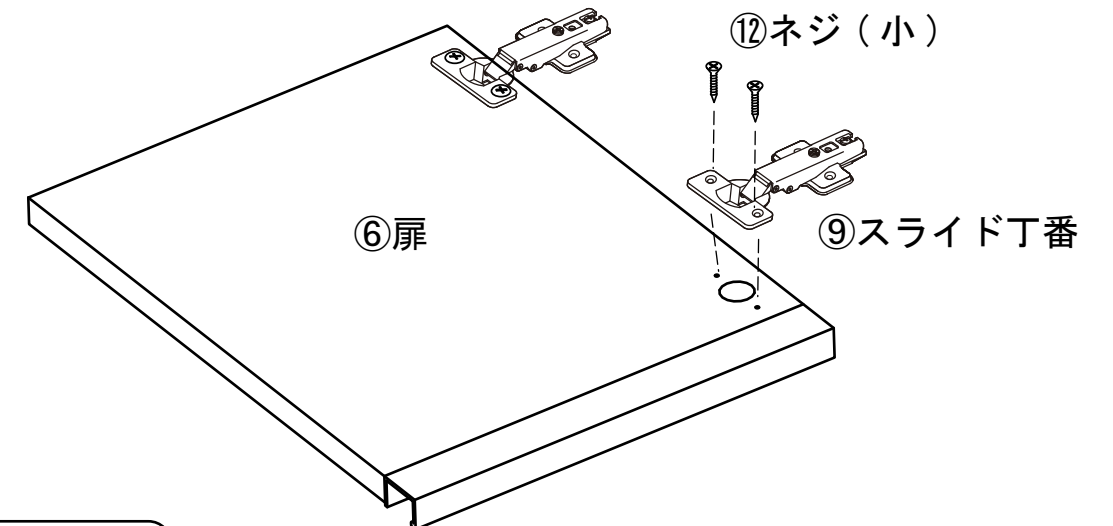
⑰ボンド ×1

⑱転倒防止バンド ×2

⑲転倒防止バンド用ネジ ×4

⑱と⑲は一緒の袋に入っています

注意

不要になった包装資材や、組立中の部品などを子供の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込んでしまったり、袋をかぶるなどして窒息や怪我をする恐れがあります。
またネジなど細かい部品を無くさないようにご注意ください。

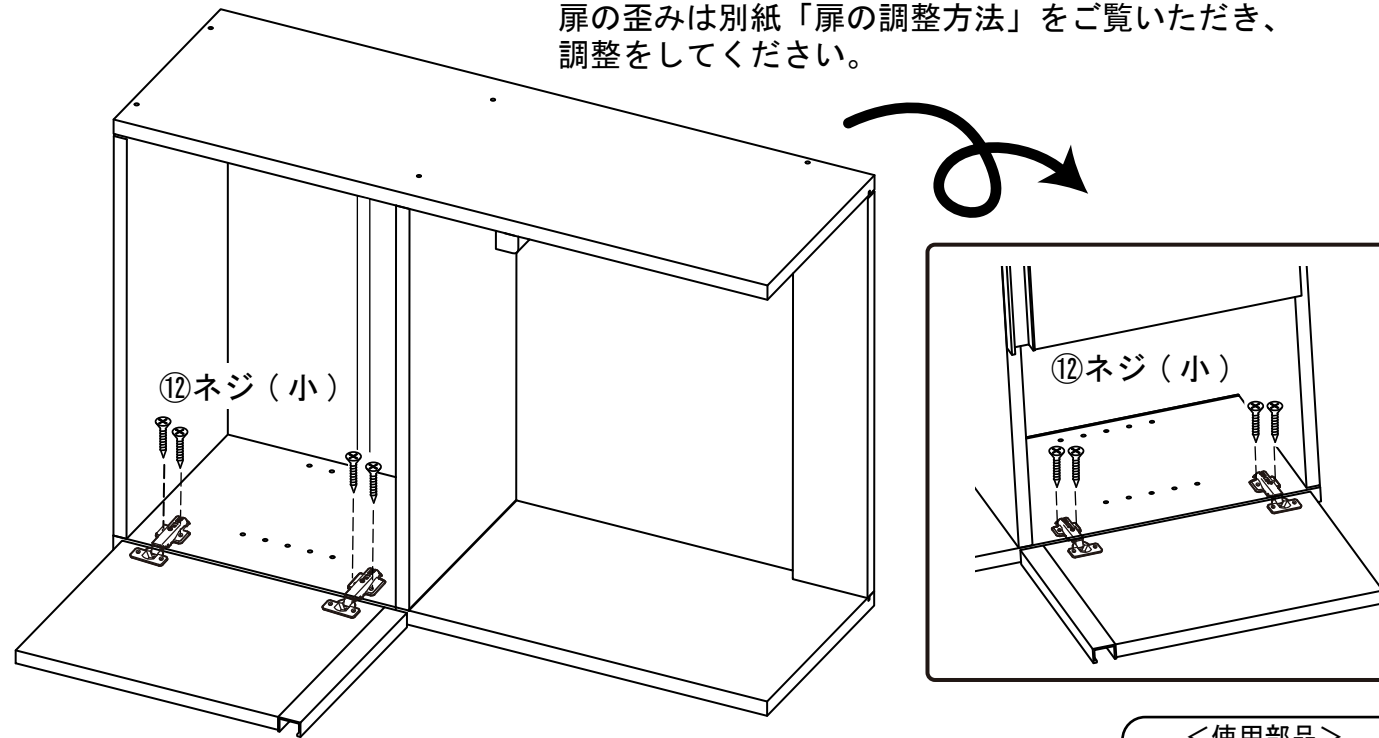
手順
1
コンセント付き棚と補強板の取付
・ ②側板を置き④コンセント付き棚のダボが入る穴に⑰ボンドを少量入れ、図のようにコンセント付き棚のダボを差し込みます。
・ ②側板の外側より⑪ネジ（長）でコンセント付き棚を取り付けます。
・ ⑦補強板を塗装されている面を上にして置き補強板のダボが入る穴に⑰ボンドを少量入れ、補強板を差し込みます。
⑪ネジ（長）で取り付けます。
⑰ボンド
⑪ネジ（長）
ダボ
⑪ネジ（長）
②側板
（左側）
溝
④コンセント付き棚
コンセントの付いている位置に注意して間違わないようにしてください。
ボンド
（表側）
⑦補強板
<使用部品>
②×1　④×1　⑦×1
⑪×3　⑰×1

手順
2
背板、天板の取付
・ ⑤背板を表裏確認して溝に差し込みます。
・ 背板をはさみこむように⑩背板連結パーツをはめ込みます。
・ 残った背板を背板連結パーツの反対側にはめ込みます。
・ ③天板を取り付ける側板のダボが入る穴にボンドを入れて差し込みます。
・ ⑪ネジ（長）で取り付けます。
⑪ネジ（長）
ボンド
③天板
⑩背板連結パーツ
⑤
表側
⑤背板
表側（内側）
⑩
⑤
⑤
裏側
組立ポイント
⑩背板連結パーツの短い方を、内側にして取り付けてください
<使用部品>
③×1　⑤×2
⑩×1　⑪×2　⑰×1

手順
3
側板の取付
・ 手順1、2と同様に反対側の②側板をダボが入る穴にボンドを入れ、⑪ネジ（長）で取り付けます。
ボンド
②側板
（右側）
⑪ネジ（長）
<使用部品>
②×1　⑪×5

手順
4
スライド丁番の取付
・ ⑥扉2枚に⑨スライド丁番を図のように⑫ネジ（小）で取り付けます。
⑫ネジ（小）
⑥扉
⑨スライド丁番
<使用部品>
⑥× 左右各1　⑨×4　⑫×8

手順 5 扉の取付

・手順４で丁番を取り付けた扉を本体に⑫ネジ（小）で取り付けます。

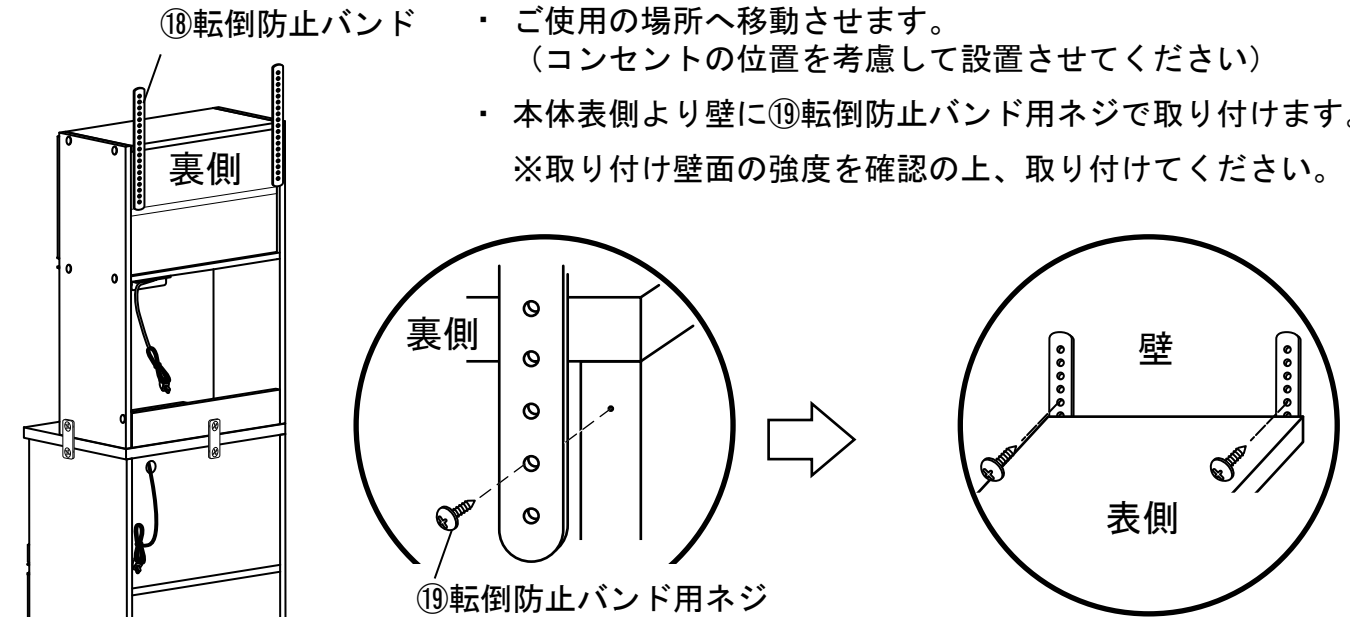
・反対側の扉も本体を反対に寝かせ、⑫ネジ（小）で同様に取り付けてください。

扉の歪みは別紙「扉の調整方法」をご覧いただき、調整をしてください。

手順 7 転倒防止バンドの取付

・⑱転倒防止バンドを⑲転倒防止バンド用ネジで本体背面よりとめます。

・ご使用の場所へ移動させます。（コンセントの位置を考慮して設置させてください）

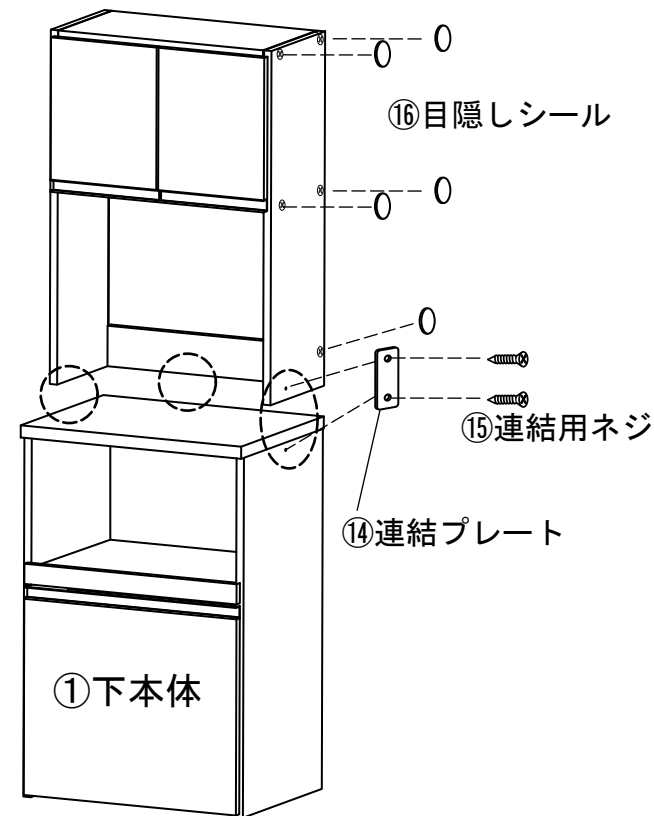
・本体表側より壁に⑲転倒防止バンド用ネジで取り付けます。

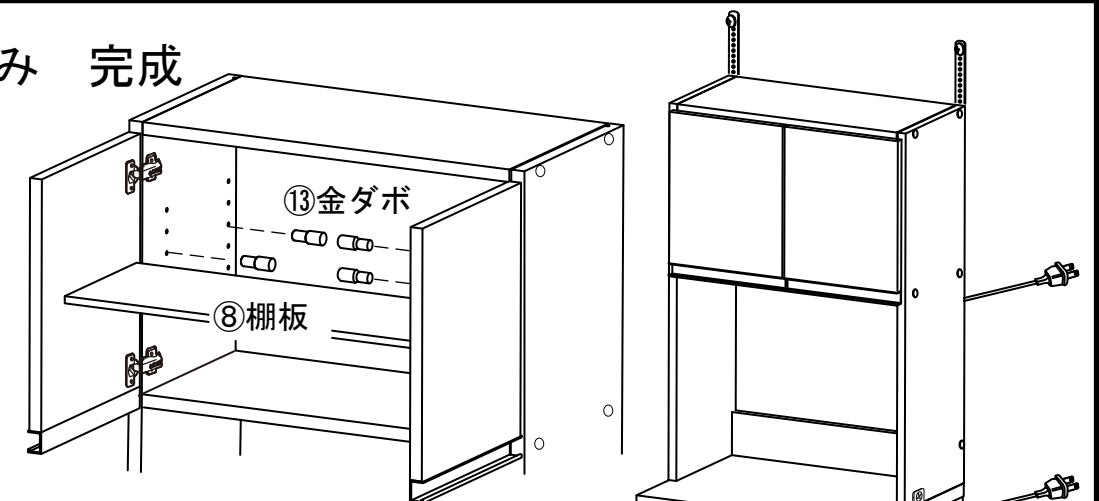
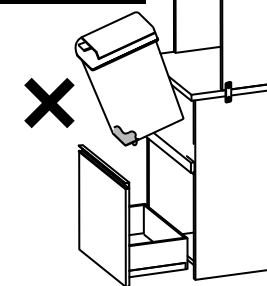
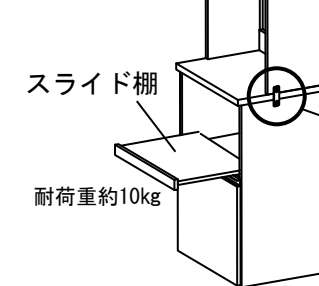
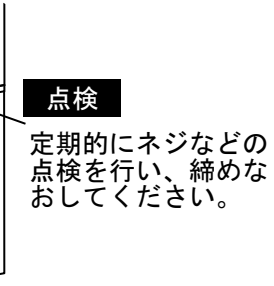
※取り付け壁面の強度を確認の上、取り付けてください。

手順 6 上本体と下本体の連結 シールの貼付

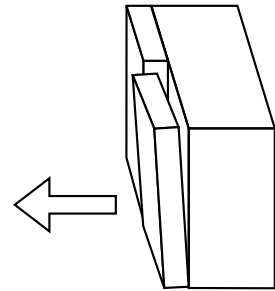
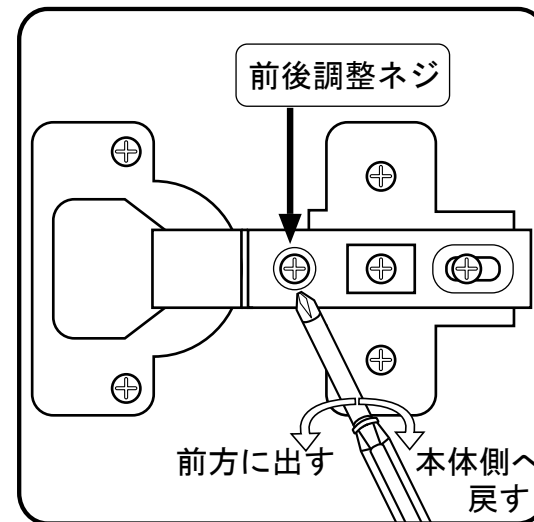
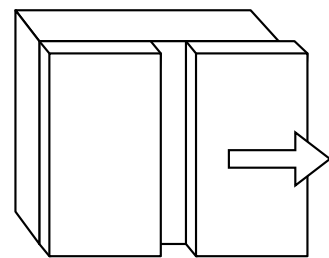
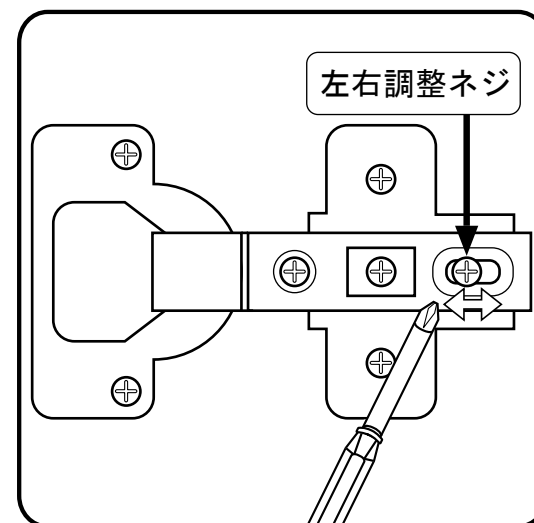
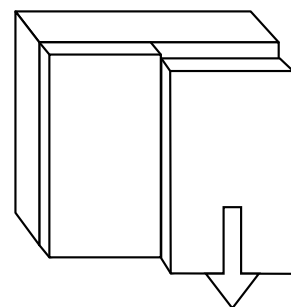
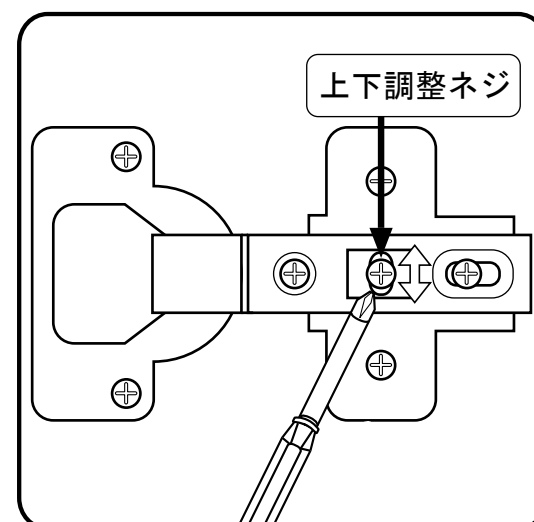
・手順５の上本体を①下本体にのせます。⑭連結プレートを⑮連結用ネジで取り付け上下本体を接続します。

プレートの取り付け位置は左右側面、背面の３ヶ所です。

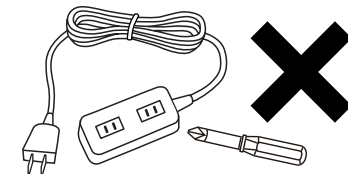
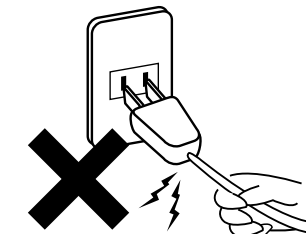
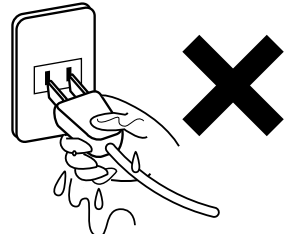
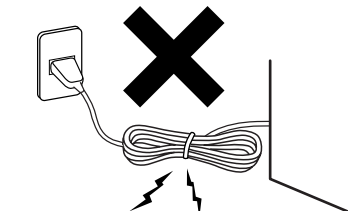
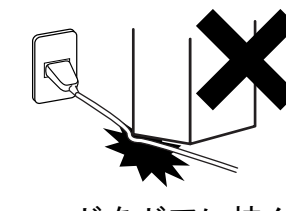
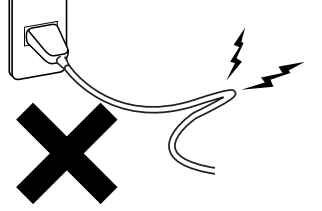
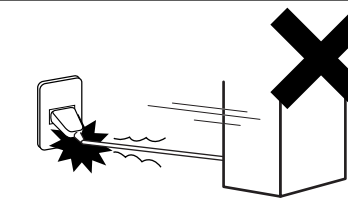
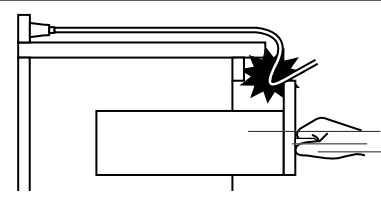
・すべてのネジを調整しながら、本締めをします。

・⑯目隠しシールを上本体のネジ穴を隠すように貼り付けます。

手順 8 棚の入れ込み　完成

・⑬金ダボを扉内のお好みの高さに差し込み、⑧棚板をのせて完成です。

扉の微調整の方法

扉を閉じた状態で前後にずれている状態

扉を支えながら前後調整ネジでずれを調整します。

扉を閉じた状態で左右にずれている状態

扉を支えながら左右調整ネジでずれを調整します。

扉を閉じた状態で上下にずれている状態

扉を支えながら上下調整ネジでずれを調整します。

コンセント付き商品のお取扱いに関するご注意とお願い

コンセント付き商品は以下をご参照の上、安全に製品をお使いくださいますようお願いいたします。

禁 止

コンセントを分解・改造しないでください。

コンセントを抜くときはコードを引っ張らないでください。

濡れた手でコンセント部に触れないでください。感電する恐れがあります。

コードを束ねて使用しないでください。

コードをドアに挟んだり家具などで踏まないでください。

コードを強く曲げないでください。

コンセントに差し込んだまま商品を移動させないでください。

コードを引き出しなどではさんだりしないように注意してください。

コンセントにプラグを長期間差し込んだままにするとほこりや湿気が原因で発火する場合があります。

- 電気製品をコンセントに接続してご使用になるときは、コンセント口に表示されている許容範囲以上のワット数でのご使用は絶対にしないでください。発熱、火災の原因となり危険です。
- タコ足配線はしないでください。許容電力を超えると破損や火災の原因となりたいへん危険です。プラグも抜けやすくなり危険です。
- 使用時以外はプラグを抜いてください。
- お使いになる電気製品の説明書をよくお読みの上ご使用ください。